

# 藤原 紳一郎・克子（ふじわら しんいちろう・かつこ）



## Profile

『京染めのふじわら』3代目夫婦。

京都で5年間、悉皆の技術を学ぶ。克子さんとはその頃に出会い、結婚。女性客が多いため、穏やかな京都弁で接客する克子さんは店のムードメーカーだ。

### ■大切にしていること

・人の気持ちに寄り添う      ・常にお客様の立場に立って物事を考える

### ■学べること・できること

・着物の知識      ・悉皆のこと

### ■見てほしい観光地や味わってほしい味覚

・迷路のような城下町の町割り      ・各商店が蔵を持っている      ・二王座

### ■私の“SDGs×#〇〇”

#悉皆      #着物文化

## 今こそ見直したい 悉皆でよみがえる着物の魅力

悉皆(しっかい)とは、シミ抜きや染め直しなど、着物のメンテナンスを表す言葉。『京染めのふじわら』は、この悉皆の店として1937年に創業した。今では呉服全般を扱っているが、悉皆の店としての信頼は3代目の藤原紳一郎さんへ脈々と受け継がれている。「古い着物でも染め替えて仕立て直すことで、新品のように生まれ変わるんです。お母さんの着物を娘さん用に作り直すなど、着物の寿命は本来長いんですよ」と藤原さん。大切な物を長く使う先人の知恵には、改めて驚かされた。

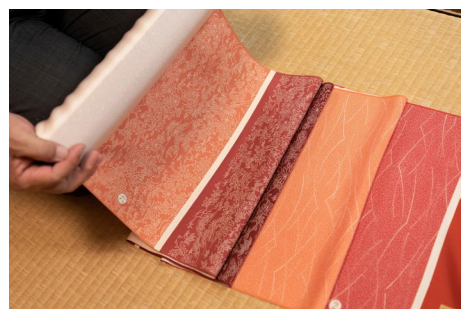
京都で悉皆を学び、克子さんと結婚して臼杵に戻ってきた。「妻は着物メーカーで働いていたので、帯揚げや帯締めなど和装全体をコーディネートしてくれます。やはりこの業種は女性の力が大きいですね」と話す言葉に、克子さんへの感謝の思いがにじむ。時代とともに、着物は持つておくものから必要な時にレンタルするものになってきた。「やはり着物を着てくださる人を増やさないと。そのためには成人式や結婚式など、人生の節目で着物に触れる機会を大切にしていきたい。その時に、私たちが気軽に相談できる存在でありたいですね」と夫婦で微笑む。本来長いはずの着物の寿命。それに気付くのは少しのきっかけと、こういう人との出会いなのかもしれない。



海外からの観光客にも人気の店。



和装小物なども豊富に並ぶ店内。



店に今も残る染め替えの巻見本。

京染のふじわら

〒875-0041 大分県臼杵市本町5組

TEL 0972-62-2622